



1 楽しく「大谷ショウタイム」



工作教室の様子

11月2日(火)、「青少年のための科学の祭典2024」(主催:ひたちなか市)がひたちなか市総合体育館で開催されました。

本校は『わくわく☆キラキラ★イリュージョン』をテーマに出展しました。悪天候でしたが多くの子供たちが熱心に工作に取り組んでいました。また、ホームランと盗塁のゲーム『大谷ショウタイム50-50』にも多くの家族連れが訪れ、数多くのホームランや盗塁を成功させようと真剣な眼差しでゲームを楽しんでいました。



ゲームを楽しむ子供たち

2 母校に嬉しい成果報告

県立太田第一高等学校



報告会の様子

情報セキュリティコース2年の木戸仁哉さんは、就職内定や資格取得の状況等を報告するために、母校の県立太田第一高等学校を訪問しました。

正面玄関で茂又孝裕教頭先生に迎えられ、当時お世話になった先生方に感謝の言葉を伝えていました。先生は「大学のパンフレットにも顔写真が載るなど活躍していてうれしい」と笑みを浮かべていました。



3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ>茨城新聞(2024年10月20日)

簡潔な文章術学ぶ

起業目指す市民ら参加

●飛田美優さん(勝田工高卒)

◇要約:ひたちなか商工会議所で、新聞の技をヒントに文章術を学ぶ講座が開かれた。伝わりやすさに焦点を当て、「5W1H」を基本として文章を組み立てることを実践的に学ぶことが出来る。文章を簡潔する方法も伝授された。

◇感想:本校の「記事トレ」を通して日常的に文章を書くようになったが、それでも簡潔な文章で伝えたいことを表現するのは難しい。

新聞は身近にある「文章のお手本」だと思うので、これからも積極的に読んで学んでいきたい。

●清水響暉さん(勝田工高卒)

◇感想:私は、分かり易い文章を書いたり説明し伝えることが苦手である。文章術を学べる講座に興味を湧きました。

IT短大で実施している「記事トレ」を通して、文章を簡潔に書く能力や読解力を身に付けようと思います。

●内田蔵人さん(石岡商高卒)

◇感想:インターネットの発達によって様々な情報が交錯する今の世の中で、情報を簡潔に伝えることも大事だと感じた。

プログラマーの世界でも同じように、如何に簡潔なプログラムが書けるかが重要なので勉強を頑張りたい。

●山中悠梨音さん(那珂高卒)

◇感想:この技術はITエンジニアとして顧客とコミュニケーションを取る上で非常に重要になると感じた。これからは私自身も短い言葉でまとめて伝える事を意識しながら、今後の授業やグループワークで活かしていきたいと思う。

●川島優愛さん(石岡一高卒)

◇感想:今の時代スマホやPCが主流となり自ら文章を書く機会が減った。

また、情報過多の時代なので様々な情報に騙されないためにも新聞などを読み、正確な情報を頭に入れていきたい。また、その情報から何を伝えたいのか、しっかり読み解く力が大切だと思った。

